

第4回古川西部地区学校教育部会報告書

開催月日	令和3年1月12日(火)午後3時00分～午後4時15分
開催場所	古川西中学校 パソコン室
出席者	<p>●古川西部地区学校教育部会員 10名 古川西中:阿部部会長, 小野寺部会員 西古川小:遠藤部会員, 高橋部会員 東大崎小:千葉部会員, 川嶋部会員 志田小:佐々木部会員, 市川部会員 高倉小:本林部会員, 大場部会員</p> <p>●事務局(教育総務課) 5名 久本課長補佐, 小野松係長, 佐藤主査, 亀ヶ川主事, 大内調査員</p>
概要	<p style="text-align: center;">○部会員 ⇒教育委員会</p> <p>1 開会 2 挨拶 3 第3回学校教育部会の報告(大内調査員)……………資料1 ※別紙資料のとおり 4 協議 (1)備品の準備方法について</p> <p style="padding-left: 40px;">【A案】西古川小を基幹校として備品を運び入れる。足りない分を他校から持ち込む。 【B案】閉校する全ての学校から必要な備品を運び入れる。</p> <p>○西古川小 ・古い備品もあるが, かなりの数の備品を持っていくことになるだろう。</p> <p>○志田小 ・基盤となる学校(西古川小)から備品を運び入れ, 足りない分を他校から運ぶのが効率的だ。</p> <p>○東大崎小 ・西古川小から備品を運び入れ, 不足分を他校から入れるのがいいだろう。ただ, 本校には新しい備品はない。</p> <p>○高倉小 ・A案が現実的でいいだろう。</p> <p>○古川西中 ・現実的なのはA案だろう。</p>

・財務の備品情報で調べ、購入後10年未満のものを入れるのがいいだろう。

⇒先生方の意見をまとめると、まず、基幹となる学校を決め、そこから備品を運び入れること、運び入れる備品は購入から年月があまり経過していないものにする(10年未満)こととなります。そのように今後計画を進めていきます。

○校舎のレイアウト、普通学級の教室数などはいつ頃示されるのか。
(志田小:市川部会員)

⇒11月に西部地区の総務部会を開催して、校舎、遊具、バス乗降所等のレイアウトについて協議をしました。それらを基に令和3年度に基本設計をするので、1~3月でおおよそのレイアウトを作り上げます。校舎内の教室配置等については事務局にお任せいただきたいと思います。

○12月に文科省から「次年度は35人学級」の学級編制という話が出された。それにより、教室数も増えることになるだろう。そうになると、備品の数も違ってくる。(志田小:市川部会員)

⇒30人学級までは想定の範囲にしています。

○以前に示された校舎内の教室配置では多目的教室が多く、使い勝手がいいだろうと思ったが、そのまま多くの多目的教室を設けるのか。(志田小:市川部会員)

⇒調整中です。

(2) 廃棄備品について

①ブラウン管テレビ、使えない冷蔵庫等処理に費用がかかるもの

◎そのまま閉校する学校に置く。処分は最後となる。

②使用に耐える備品(使える洗濯機など)

◎そのまま閉校する学校に置き、市内の学校から問合せがあれば、引き取ってもらう。

③その他使用できないもの

◎処理できるものは各学校で処理

◎処理できないものは学校に置く。

⇒R4年度内に廃棄予算を計上して処理できるように進めていきますが、学校で処理できるものは処理をお願いします。

(3) 進捗状況と課題・懸案事項について

○横断歩道が2つしかない交差点もあり、4つの横断歩道を整備するなど、徒歩通学の児童のために通学路の整備をお願いしたい。

(西古川小:遠藤部会員)

○統合後の学校を考えると、壁掛けの時計を準備しておく必要があるのではないかと思う。これは各校の共通意識として持たなければならないことだろう。(古川西中:小野寺部会員)

○冬季間の除雪が心配されるところだが、現在西中では学校備え付けのガソリンエンジン除雪機1台と業務員の私物除雪機1台の都合2台で除雪作業をしている。各校で所有している除雪機が何台か、また、その除雪機を統合後に西中に持ってこられるのか伺いたい。また、床磨きのポリッシャーが西中学区の学校はどこも所有していないので他校から借用していた。

(古川西中:小野寺部会員)

○壁掛け時計の件だが、電波時計を計画的に準備しておくことが望ましいだろうと思う。志田小ではスコップのみで除雪機は所有していない。(志田小:市川部会員)

○西古川小では電気除雪機を所有しているが、電気コードなので可動範囲が限られてくる。(西古川小:遠藤部会員)

○東大崎小にはガソリンエンジンの除雪機が1台ある。また、ポリッシャーも見つかり、動作確認もできた。(東大崎小:千葉部会員)

○高倉小では除雪幅1mのガソリンエンジンの除雪機が1台ある。(高倉小:本林部会員)

○駐車場の除雪をしなければならないし、除雪機の有無を伺ったが、砂利のままでは除雪も大変だろう。駐車場の舗装をお願いしたい。(古川西中:小野寺部会員)

(4)伝統芸能の学校教育への取り入れについて

□伝統芸能を映像として記録する(R3~4年度内に)

①志田小……………獅子舞踊り(飯川獅子舞保存会)

・映像記録がないが、新たに記録するためには、密になるために難しい状況だ。

②西古川小……………保柳神楽(保柳神楽保存会)

・子供の映像記録はあるが保存会のものはない。

③東大崎小……………新田囃子(新田囃子保存会)

・子供の練習風景の映像記録はある。

④高倉小……………矢目田植え踊り(矢目地区の方)

・今までの映像記録はある。

⇒映像記録として2年間掛けて保存することをお願いしたい。

(5)記録した映像の活用について

- ①総合的な学習の時間に「地域の伝統芸能」として鑑賞し、歴史などについて学ぶ。

※事務の先生方はここから別室で協議

【事務の先生方の協議でいただいた御意見】

- 各校からの備品搬入について、購入5年以内の一般備品は全て西中に搬入する。
- 砂利敷の地面だと除雪機械が稼働できないので、敷地内駐車場、車道等の車に関わる場所はアスファルト舗装をお願いしたい。

(6)地域との連携(ふるさと教育)について

地域素材一覧

総合的な学習の時間 主な内容と指導時数(素案)

- 違う学年で同じ学習教材を扱い、同じ学習内容になることが過去にあったので、そうならないようにするためにも、計画を丁寧に作成していくことが必要だろうと思う。ちなみに、地域防災として西中が扱っていることについて説明させてもらう。

1年生は「サバメシ」2～3時間

2年生は「水害時の図上訓練」4時間

3年生は「避難所運営の実際」4時間

となっている。(古川西中:阿部部会長)

- 避難訓練の一つとして放送を聞くことを行っている。

(志田小:佐々木部会員)

- 水害について学んでいる。(西古川小:遠藤部会員)

- 地震を想定した避難訓練を行っている。地区振と合同で、地域合同防災訓練として行った。バケツでの消火、アルファ米とレトルトカレーでの非常食試食体験も行った。(東大崎小:千葉部会員)

- 小学校段階では公助、共助にはまだ至らない。自助の段階である。避難訓練は水害への対応も想定している。(高倉小:本林部会員)

- 避難訓練は行事として、総合では防災教育を扱っている。今伺った話からは、小学校では自助、中学校で公助、共助という段階に進むのだろうと思った。また、防災倉庫の中を見たことがない。東大崎の地区振との合同防災訓練はいい活動だと思う。(古川西中:阿部部会長)

○西中では3年前からローリングストックを実際に行っているが、それに加え地域の人と関わりをとれるような展開を考えていきたい。(古川西中:阿部部会長)

⇒総合的な学習の時間の計画について御意見をいただきました。他教科の指導計画は通常の計画でほぼ大丈夫ですが、学校行事も考えていく必要があります。本日の話し合いを基に、今後どのように義務教育学校の指導計画立案につなげていくか、大まかなところを考えて、年度末には先生方に報告できるようにしていきたいと思います。

(7)その他

※特になし

5 その他

事務局より 次回の学校教育部会は令和3年度に入って実施

6 閉 会